



北海道 防衛HOKKAIDO

編集・発行

防衛省北海道防衛局 広報委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
TEL 011-272-7579
<https://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



観閲行進（函館駐屯地提供）

「絆」函館駐屯地の紹介	P2
「絆」函館市の紹介	P3
防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について（第1回）	P4～5
施設整備関連（最適化事業の進捗等）	P6～7
施設整備関連（事業の紹介）	P7
陸上自衛隊オスプレイ（V-22）について	P8
業務紹介・若手職員の紹介（帯広防衛支局）	P9
職員（事務官・技官）採用情報	P10

北海道防衛局
ホームページ

北海道防衛局
公式X



2025
03
vol.93



「絆（きずな）」

函館駐屯地



函館駐屯地正門前



函館駐屯地観桜会

陸上自衛隊　函館駐屯地の紹介

函館駐屯地は、北海道道南唯一の駐屯地であり、戦略的要衝である津軽海峡や道南地域の防衛・警備を担任するため、警察予備隊が創設された昭和25年10月に開庁されました。

また、駐屯部隊として第28普通科連隊を基幹として、6個の部隊が駐屯しております。



スキー競技会

函館市との関係性

函館駐屯地は、「函館市防災フェスティ」といった防災訓練への参加や防災施策の推進等、函館市と密接な連携を図るとともに、「函館港まつり」等各種イベントへの参加、支援等を行い、函館市をより一層盛り上げるとともに、これまで以上に駐屯部隊及び駐屯地へのご理解を深めていただいております。



中学生の総合的な学習の時間への支援



イベントでの広報活動

道南唯一の駐屯地として、歴代駐屯地司令要望事項「正しく・強く」「逞しく」「仲良く・心さわやかに」を合言葉に日々訓練等に励み、いつ如何なる任務にも即応・完遂でき、地域に信頼され、地域とともにあら駐屯地を目指しています。

第28普通科連隊長兼ねて函館駐屯地司令 1等陸佐 廣山 俊一





「絆（きずな）」 函館市

自衛隊の皆様には、国の防衛や災害派遣活動などをはじめ、当市の各種事業にご協力をいただいておりますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

今後も自衛隊の皆様と連携を図りながら、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。



大泉 潤 函館市長

異国情緒と歴史が織りなす港町 函館市

函館市は北海道の南端部に位置し、国内初の国際貿易港として開港して以来、諸外国との交流を通じて、個性豊かな文化や伝統を創り上げながら、水産業や造船業を中心に繁栄してまいりました。

また、当市には、異国情緒あふれるまち並みや函館山からの夜景をはじめ、特別史跡五稜郭跡や世界文化遺産である北海道・北東北の縄文遺跡群など、数々の魅力ある資源を有し、国内外から多くの方々にお越しいただいております。

さらに、今年度の函館港へのクルーズ船の寄港回数も過去最多の80回となることを見込むなど、こうした明るい話題を追い風に、多くの国内外の人々が行き交い、にぎわう、活気にあふれるまちづくりを進めています。



函館山からの夜景



五稜郭公園



国宝『中空土偶』

函館市と防衛省 自衛隊との関わり

陸上自衛隊函館駐屯地には、道南防衛の要としての役割を果たしていただいており、海上自衛隊函館基地隊には、北方の海の最前線を担う基地として、津軽海峡およびその周辺海域の防衛警備を行っていただいております。

また、自衛隊の皆様には、当市の防災体制の強化はもとより、防災フェスタにおける炊き出しや実動訓練、函館港まつりのパレードへの参加や山車の製作、花火大会における基地隊構内の開放など、函館市の各種行事に多大なご支援とご尽力をいただいておりますほか、記念行事における駐屯地の一般開放、艦艇の一般公開などにより、積極的に市民との交流を深めていただいております。



防災フェスタの様子

函館駐屯地等周辺消防施設（水槽付消防ポンプ自動車）設置助成事業

防衛省は、防衛施設の設置又は運用により生活又は事業活動が阻害されると認められる場合、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づき、民生安定施設整備事業として、地方公共団体が必要な施設の整備を実施するときに、その費用の一部を補助しています。

この消防ポンプ自動車は、自衛隊の事故等が発生した場合における住民の避難又は消防活動の円滑化を図るために施設として整備しました。

【補助事業の概要】

補助事業の内容：水槽付消防ポンプ自動車（II型）1台

事 業 年 度：令和6年度

補助対象事業費：53,988千円

補 助 額：20,479千円（補助率2／3（限度額））





防衛政策講座 防衛力の抜本的強化について（第1回）

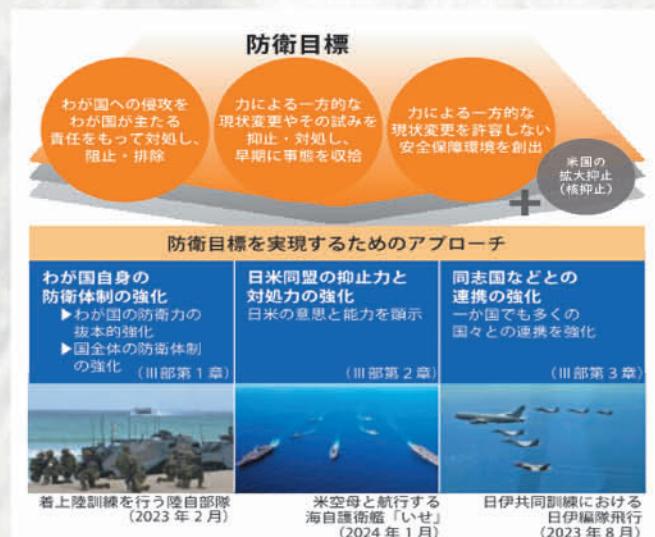
わが国の安全保障政策にかかる主要な文書である国家安全保障戦略などの「三文書」が2022年に策定されてから約2年が経過しました。あらためて、この中で位置づけられている防衛力の抜本的強化について数回にわたり紹介します。

国家安全保障戦略などの「三文書」

国家安全保障戦略	わが国の安全保障に関する最上位の政策文書であり、外交・防衛分野のみならず、経済安全保障、技術、情報も含む幅広い分野の政策に戦略的な指針を与えるもの
国家防衛戦略	国家安全保障戦略を踏まえ、わが国の防衛目標、この防衛目標を達成するためのアプローチやその手段を包括的に示すもの
防衛力整備計画	国家防衛戦略に従って防衛力を抜本的に強化するにあたり、我が国として保有すべき防衛力の水準や、それを達成するための経費総額、主要装備品の整備数量などを示すもの

防衛目標とこれらを実現するためのアプローチ

国家防衛戦略は、今後の防衛力については、相手の能力と戦い方に着目して、わが国を防衛する能力をこれまで以上に抜本的に強化するとともに、新たな戦い方への対応を推進し、いついかなるときも力による一方的な現状変更とその試みは決して許さないとの意思を明確にしていく必要があるとし、右図のとおり3つの防衛目標とこれら防衛目標を達成するための3つのアプローチを示しています。



出典：令和6年版防衛白書

防衛力の抜本的強化にあたって重視する7つの機能・能力

国家防衛戦略は、防衛力の抜本的強化にあたって重視する7つの機能・能力を示しています。まず、わが国への侵攻そのものを抑止するために、遠距離から侵攻戦力を阻止・排除できる能力である、①スタンド・オフ防衛能力、②統合防空ミサイル防衛能力の強化です。また、万が一抑止が破れ、わが国への侵攻が生起した場合、①と②の能力に加え、有人・無人アセットを駆使するとともに領域を横断して優越を獲得し、非対称的な優勢を確保するため、③無人アセット防衛能力、④領域横断作戦能力、⑤指揮統制・情報関連機能の強化です。さらに、迅速かつ粘り強く活動し続けて、相手方の侵攻意図を断念させるための⑥機動展開能力・国民保護、⑦持続性・強靭性の強化です。



防衛力の抜本的強化について (①スタンド・オフ防衛能力の強化)

スタンド・オフ防衛能力は、島嶼部を含むわが国に侵攻してくる艦艇や上陸部隊などに對して脅威圏の外から対処する能力のことです。

諸外国のレーダー探知範囲や各種ミサイルの射程・性能は著しく向上しており、これらの脅威が及ぶ範囲は侵攻部隊の周囲数百km以上となります。わが国領域を守り抜くため、わが国に侵攻してくる艦艇や上陸部隊などに対し、対空ミサイルなどの脅威圏の外から対処するスタンド・オフ防衛能力を抜本的に強化し、わが国への武力攻撃に対する抑止を向上させることが必要となります。

このため、わが国の様々な地点から、重層的にこれらの艦艇や上陸部隊などを阻止・排除できる必要かつ十分な能力を保有します。また、ミサイルを地上発射機や航空機、艦艇から発射できるといった、発射プラットフォームの多様化を行いつつ、様々な異なる特徴を有するスタンド・オフ・ミサイルを組み合わせて対処することにより、相手方に複雑な対応を強いることができます。さらに、外国製スタンド・オフ・ミサイルの早期取得とともに、国産スタンド・オフ・ミサイルの国内製造態勢の拡充を後押ししつつ、必要かつ十分な数量の早期獲得を図ります。



出典：令和6年版防衛白書

反撃能力

反撃能力とは、わが国に対する武力攻撃が発生し、その手段として弾道ミサイルなどによる攻撃が行われた場合、「武力の行使」の三要件に基づき、そのような攻撃を防ぐのにやむを得ない必要最小限度の自衛の措置として、相手の領域において、わが国が有効な反撃を加えることを可能とする、スタンド・オフ防衛能力などを活用した自衛隊の能力のことを言います。

近年、わが国周辺では、極超音速兵器などのミサイル関連技術と飽和攻撃など実戦的なミサイル運用能力が飛躍的に向上し、質・量ともにミサイル戦力が著しく増強されるなか、ミサイルの発射も繰り返されるなど、わが国へのミサイル攻撃が現実の脅威となっており、既存のミサイル防衛網だけで完全に対応することは難しくなりつつあります。そのため、ミサイル防衛網により飛来するミサイルを防ぎつつ、相手からのさらなる武力攻撃を防ぐために、反撃能力を保有する必要があります。

反撃能力の保有により、武力攻撃そのものを抑止し、万一、相手からミサイルが発射される際にも、反撃能力により相手からのさらなる武力攻撃を防ぎ、国民の命や平和な暮らしを守っていきます。



出典：令和6年版防衛白書



施設整備関連（最適化事業の進捗等）

■ 最適化事業について

最適化事業は、防衛力の抜本的強化の柱の一つである持続性・強靭性の強化の一環として、自衛隊の各基地・駐屯地等に保有されている建物やライフラインなどについて、施設の機能や重要度に応じた構造強化、再配置・集約化、老朽改修等を行うものです。

最適化事業を効率的かつ集中して実施するため、各駐屯地等の施設の再配置・集約化や老朽改修などの整備計画となる「マスター・プラン」を順次作成しており、北海道防衛局では、道内の各基地・駐屯地等において「マスター・プラン」に示された施設整備を進めることとしています。

■ 技術提案・交渉方式

最適化事業の実施にあたっては、自衛隊の運用を確保しつつ、短い間に集中的に整備を実施する必要があることから、事案に応じ、技術提案・交渉方式（以下、ECI方式）を採用することとしています。

ECI方式は、施工者独自の高度で専門的なノウハウ等を活用することを目的に、技術提案に基づき選定された工事の優先交渉権者が設計に関与し、価格等の交渉を経て施工の契約を締結するものです。



最適化事業の進捗



北海道防衛局では、令和6年度の最適化事業について、陸上自衛隊札幌駐屯地及び航空自衛隊千歳基地に係る工事の優先交渉権者を選定するとともに、優先交渉権者と設計に対する技術協力業務の契約を締結し、現在、設計を鋭意進めております。また、海上自衛隊松前警備所においては、隊舎の建替え工事の契約を締結しました。



防衛局での受注者との設計打ち合わせ



千歳基地での設計会議



学識経験者の現地視察



ECI方式は、技術提案に基づき工事の優先交渉権者を選定することながら、手続きにあたっては、発注者の恣意を排除し、中立かつ公正な審査・評価を行うことが特に重要となります。このため、入札・契約手続きの各段階において、学識経験者からの意見を徴収することとしています。

令和6年12月9日から11日の間、学識経験者の方々に、令和7年度以降に最適化事業を実施する予定の陸上自衛隊旭川駐屯地などにおいて、老朽化した施設の状況を視察いただき、公正な技術提案審査の資としていただきました。

北海道防衛局は、引き続き、最適化事業を適正に進めるよう取り組んでまいります。



自衛隊員の生活環境改善について

また、防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための人的基盤強化の一環として、駐屯地・基地の隊舎・庁舎の建替え・改修などを集中的かつ効率的に進めるとともに、隊員が快適に生活・勤務できる環境を整備しています。ここでは、生活環境改善の一例を紹介します。

隊舎・庁舎の改善例

居室（個室化）	 (イメージ)	洗面所	○老朽化に伴う改修、混雑緩和のため洗面台を増加 
トイレ	○和式便器の洋式化 	洗濯場	○混雑緩和のため洗濯機数を増加 

施設整備関連（事業の紹介）



北海道防衛局では、最適化事業以外にも、道内の基地・駐屯地等において施設整備工事を行っています。現在、施工中の一例（宿舎関係）を紹介します。

東千歳駐屯地における宿舎新設工事（鉄筋コンクリート造5階建て 延べ面積約4,900 m² 54戸） 東千歳（4）宿舎新設建築工事（1工区）

外観
(現状)



施工中



室内
状況



室内
状況



この宿舎は令和7年6月末完成予定です

引き続き、隊員及びその家族が居住している宿舎の建替えなど、順次計画的な老朽化対策を行い、居住環境の改善に取り組んでまいります。



陸上自衛隊オスプレイ（V-22）について

現状

陸上自衛隊オスプレイ（V-22）の運用については、防衛省はその配備先として、佐賀空港が最適の飛行場と判断した上で、佐賀県知事から受入れ表明を頂き、令和5年5月、佐賀県有明海漁業協同組合との間で不動産売買契約を締結し、駐屯地予定地を取得しました。

防衛省・自衛隊は、令和5年6月から陸自佐賀駐屯地（仮称）の工事に着手しており、喫緊の課題である島嶼防衛能力の強化のため、早期に佐賀空港の隣接地に陸自オスプレイの配備を行うことで、長崎県佐世保市などに所在する水陸機動団と一緒に運用できる体制の構築を進めていく考えです。

なお、佐賀空港配備には一定期間を要することを考慮し、令和2年以降、オスプレイを運用する輸送航空隊を陸自木更津駐屯地（千葉県）に新編し、オスプレイを暫定配備しています。

【オスプレイの有用性】

- 回転翼機と固定翼機の特徴を併せ持ち、固定翼機が離着陸するための飛行場がない離島においても離着陸が可能です。
- 輸送ヘリ（CH-47JA）に比べ、最大速度が約2倍、航続距離及び飛行高度が約3倍と極めて高い性能を有しています。
- このため、島嶼への侵攻対処だけでなく、災害救援や離島の急患輸送でも能力を発揮します。

主な活動状況

陸上自衛隊では、教育訓練による人材育成、飛行前後の点検・整備を徹底した上で、操縦士等や部隊の練度を維持・向上するため全国の様々な方面への飛行訓練を行っております。

最近では、任務遂行能力及び運用の実行性の向上を図るため、令和6年5月「富士総合火力演習」、同年7月「令和6年度米海兵隊との実動訓練（レゾリュート・ドラゴン24）」などに参加し、令和7年1月には、南海トラフ巨大地震を見据えた災害対処訓練「南海レスキュー2024」において、救急患者・物資輸送訓練を実施しました。

なお、オスプレイの運用に当たっては、飛行の安全確保が最優先であり、安全確保に万全を尽くしながら行っているところであり、北海道防衛局は地元の皆様のご不安やご懸念の払しょくのため、北海道庁をはじめ関係自治体の皆様に対して、丁寧な説明や情報提供に努めてまいります。



南海レスキュー2024
(救援物資の運搬)



教育訓練による人材育成
(シミュレータ訓練)

北海道内での初飛行訓練状況

令和6年8月、北海道内の丘珠駐屯地、帯広駐屯地及び旭川駐屯地において初めて人員輸送・離着陸訓練を実施しました。

その際、北海道防衛局では、自衛隊の活動について理解を得るために、陸上総隊司令部と連携し、関係自治体へ当該訓練等に係る説明を実施しました。

引き続き、関係自治体の皆様への丁寧な説明や情報提供に努めています。



丘珠駐屯地着陸（8月21日）

業務紹介・若手職員紹介（帯広防衛支局）

帯広防衛支局各課の業務紹介

・総務課

支局の窓口としての総合調整や、人事管理、福利厚生、宿舎管理、物品管理、建設工事等の入札契約事務及び自衛隊の部隊・機関との連絡調整等を行っています。また、入居している帯広地方合同庁舎の管理庁として維持管理や契約業務も実施しています。

日勝峰

・施設課

自衛隊及び米軍が使用する土地・建物などの財産管理（測量、境界の確認、国有財産台帳の整理など）、国有財産の使用許可、自衛隊施設として使用するための土地・建物の買い入れや借り上げなどを行っています。

・建設課

防衛施設に建設される庁舎、隊舎、整備場等の建物や飛行場及びユーティリティーなど多岐にわたる防衛施設の整備に伴う調査、設計、積算、工事監督及び検査等を実施しています。

・建設計画官

自衛隊や在日米軍の施設建設工事等について、実施計画の立案・調整及び予算管理、自治体等との調整業務を行っています。また、施設のユーザーである自衛隊等の要望を確認し調整のうえ、工事期間の検討や発注計画の作成等を行っています。

帯広防衛支局の若手職員紹介



齊藤さん

【所 属】
施設課 施設係

【採用区分】
国家一般職（高卒程度）
2023年 入省

◎志望動機

学生時代から国防に関する仕事に興味があり、就職活動時に地方防衛局の存在を知り、地方自治体と自衛隊を繋ぐ仕事内容に魅力を感じました。

◎職場の雰囲気

明るく話し易い職員が多く、業務で困った時に互いにサポートし合える職場です。
また、年次休暇も取得し易いのでリフレッシュして日々の業務に取り組むことが出来ます。

◎担当業務について

防衛施設の周辺財産管理の一環として、業務及び工事の積算作成及び工程管理を主に行ってています。

また、自衛隊が使用する駐屯地等の国有財産の申請・登録処理も担当しています。

◎休日の過ごし方

地元の友達と飲みに行ったり、道内の温泉巡りなどしています。

◎国家公務員を目指す受験生にメッセージ

学生さんは筆記や面接対策は勿論大事ですが、今の内に出来る事は色々と経験して楽しんで下さい。受験当日に体調不良で休んだりしない様に、日頃から健康管理も気を付けて下さい。

◎志望動機

身近に自衛隊関係者が多く知人の事務官におすすめされ防衛局の存在を知りました。業務説明会で幅広い業務に携わることができると教えていただき、魅力を感じたからです。

◎職場の雰囲気

上司含め課内の方達が明るく、とても優しいため気軽に相談しやすく、小さなことでも何事にも親身に考えて下さったり、一緒に考えてくださる恵まれている環境です。また、休暇が非常に取りやすいため、プライベートも充実させることができる職場です。

◎担当業務について

自衛隊が任務のために必要な事務所、演習場、弾薬庫等で使用するための土地・建物などの借り上げ業務を行っています。

◎休日の過ごし方

年次休暇も利用し、友人と野球観戦や旅行に行きました。

◎国家公務員を目指す受験生にメッセージ

就職活動中、悩みや不安があればその都度質問したり相談してみて下さい。そして、試験対策等でつらくなってもそのときだけ乗り越えて頑張れば、その後に楽しいことが沢山待っていると思うのでそれをモチベーションに頑張って下さい。応援してます。



大木さん

【所 属】
施設課 施設企画係

【採用区分】
国家一般職（高卒程度）
2023年 入省

令和7年度 職員採用情報

地方防衛局の事務官・技官について

防衛省・自衛隊の職員は自衛官だけではありません。

事務職に従事する「防衛事務官」、技術職に従事する「防衛技官」と自衛官が協力して、日々の業務を行っています。

中でも、防衛省の地方支分部局である地方防衛局は、職員の大半が事務官・技官で構成されている組織です。全国約2,500人の地方防衛局職員は、行政官として、エンジニアとして、我が国の平和と安全の一翼を担っています。



詳しい業務内容

各試験と採用区分

国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

◆行政 ◆デジタル・電気・電子 ◆機械 ◆土木 ◆建築 ◆教養

2025年度の試験から「教養区分」が新設されます。この区分では、法律学や化学などの専門試験は課さず、一般的な教養や、速く正確に課題を解く能力に関する試験を実施します。

国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験)

◆事務 ◆技術(電気・情報系、機械系、土木系、建築系) ◆農業土木

防衛省選考採用(一般職相当・係長級、専門官級(技術))

国会公務員採用一般職試験 合格者相当
(大卒程度:デジタル・電気・電子、機械、土木、建築 高卒程度:技術)

令和7年度 採用試験スケジュール

■ 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)

2/20~3/24 申込期間	6/1 1次試験	6/25 1次試験 合格発表	7/9~7/25 2次試験	8/12 最終 合格発表	随時 採用面接	10/1 内定
3/1以降 随時業務セミナー開催!						

官庁訪問(2次試験期間中除く)

■ 国家公務員採用一般職試験(高卒程度試験)

6/13~6/25 申込期間	9/7 1次試験	10/9 1次試験 合格発表	10/15~10/24 2次試験	11/18 最終 合格発表	随時 採用面接	採用面接後随時 内定
1次試験以降、業務セミナー開催予定!						

官庁訪問(2次試験期間中除く)

■ 防衛省選考採用(一般職相当・係長級、専門官級(技術))

随时募集中 書類受付期間	応募から概ね1~3週間程度 1次合格発表	順次実施 2次選考	2次選考から概ね1~2週間程度 最終合格発表	最終合格発表から概ね1~2ヶ月程度 採用
-----------------	-------------------------	--------------	---------------------------	-------------------------

※採用区分及び採用試験スケジュールは変更となる場合がございます。最新の情報については、防衛省・自衛隊HPよりご確認ください。

業務説明会のご紹介

国家公務員一般職を受験しているまたは受験予定の方々を対象に、随時業務セミナーを開催しています！

令和7年度国家一般職試験(大卒程度)の受験者を対象としたセミナーは、令和7年6月頃に開催予定です。業務の説明はもちろん、実際に北海道防衛局で働く職員への質疑応答時間も設ける予定なので、少しでも興味を持っていたい方は、ぜひお気軽に業務セミナーへ足を運んでみてください♪

各種説明会の様子



また、道内の学校へ訪問して、学生を対象とした説明会や、就職支援ご担当者様へのご説明も行っております。

ご要望・ご質問等がありましたら、下記の問合せ先までご連絡をお待ちしております。

【お問い合わせ】 防衛省北海道防衛局 総務部総務課人事係

TEL 011-272-7590 (採用専用)

北海道防衛局HP
採用情報



北海道防衛局×

